

Rotary



ロータリー
変化をもたらす

ROTARY

MAKING A DIFFERENCE

国際ロータリー第2590地区

2017-18年度ガバナー 湯川孝則

国際ロータリー第2590地区 2017-18年度ガバナー

湯川孝則 プロフィール

〔略歴〕

- 1939年5月12日生
- 1962年 明治大学 政経学部 経済学科 卒
- 2001年 シンメイグループ CEO就任 現在に至る
- 2007年 株式会社シンメイ 代表取締役会長 現在に至る

〔公職歴(全て現職)〕

- 明治大学維持クラブ員
- 明治大学連合駿台会 理事
- 東京商工会議所 大田工業部会 副分科会長
- 社団法人 裏千家淡交会 関東第三支部 副支部長
- 社団法人 裏千家淡交会 代議員推薦委員

〔ロータリー歴〕

- 1983年4月 東京荏原ロータリークラブ(D2750)入会
- 1987年6月 東京荏原ロータリークラブ退会
- 1994年10月 横浜西ロータリークラブ入会
- 2008-09年度 横浜西ロータリークラブ会長(横浜西RC創立50周年)
- 2012-13年度 地区クラブ奉仕委員
- 2013-14年度 第8グループガバナー補佐、オン・ツー・シドニー委員
- 2014-15年度 地区戦略計画委員
- 2016-17年度 オン・ツー・アトランタ委員長、地区戦略計画委員
地区危機管理委員

ロータリー：変化をもたらす 国際ロータリー2017-18年度テーマ



国際協議会（1月15～21日）がカリフォルニア州サンディエゴで開催され、RI会長エレクト イアン H.S. ライズリー氏は、2017-18年度のテーマ「ロータリー：変化をもたらす（ROTARY: MAKING A DIFFERENCE）」を発表した。

2017-18年度のRI会長テーマ 「ロータリー：変化をもたらす」



(ROTARY: MAKING A DIFFERENCE)」

RI会長 イアン H.S. ライズリー氏

サンドリングラム・ロータリークラブ所属、オーストラリア

ライズリー氏は、オーストラリア国内外の企業会計を専門とするIan Riseley and Co.の社長を務め、2006年にはオーストラリアの地域社会への貢献が認められ、勲章を受けた。

持続可能な奉仕というロータリーの目標にとって、環境保護と温暖化抑止がきわめて重要である。来年の「アースデイ」までに全会員に1本以上の植樹をしてほしい。(RI会長の提案)

我々は奉仕活動で成長・存続し、力をつけながら地域社会に、国に、そして世界に「変化をもたらす」ことが大切である！



ロータリー
変化をもたらす

国際ロータリー第2590地区 2017—18年度ガバナーテーマ

ともに語ろうロータリー
♪ 友達になろう ♪



ともに語ろうロータリー

1つ目 共に語ろう

ロータリーの活動の原点は交流
と親睦です。

ロータリーから何を学び実践する
のか、一緒に語ろう!



2つ目 友に語ろう

ロータリーの考え方や活動を知
人・友人に語ろう!

ロータリーの公共的イメージを
高めよう!



ロータリー
変化をもたらす

2017－18年度地区方針

- 1 戦略計画の推進
- 2 クラブ自主性の尊重
- 3 会員増強とクラブ拡大
- 4 ローターリー財団活動の理解
- 5 ローターリー米山記念奨学事業の理解
- 6 ローターリーの未来を担う人材の育成
- 7 会長賞への挑戦

1 戦略計画の推進

ロータリーがこれからもダイナミックな組織でありつづけ、世界中の地域社会に貢献していくための将来への指針となるのが、ロータリーの戦略計画の位置づけ。

戦略的目標

- 1 クラブのサポートと強化
- 2 人道的奉仕の重点化と増加
- 3 公共イメージと認知度の向上

親睦、高潔性、多様性、奉仕、リーダーシップ
私たちは責任あるリーダーとして、
世界の切実な課題を解決するために行動する。

2 クラブ自主性の尊重

◆2016年規定審議会：クラブ運営に大幅な柔軟性

2016年4月、世界中のロータリー地区の代表議員がシカゴに集まり、ロータリーの方針の見直しを行い、クラブ運営に大幅な柔軟性を認める決定をした。

◆例会の頻度、形式、出席に関する柔軟性(例)

- 例会の曜日と時間を自由に決定する。(月に最低2回以上)
- 奉仕プロジェクトまたは社交行事を「例会」とみなす。
- 直接顔を合わせる例会、オンラインでの例会、その両方を交互に行う例会あるいは両方の方法を同時に用いる例会を選択できる。



3 会員増強とクラブ拡大

会員増強

- ・地区全体で会員数純増100名を目標とする。
- ・クラブ目標は、クラブの自主性を尊重し、クラブが自主的に、そして積極的に増強目標を設定してください。

クラブ拡大

・新しい形態のクラブ拡大にチャレンジ

- ①衛星クラブの設立
- ②R財団学友、米山学友、ローターアクターによるクラブ
- ③プロバスクラブをロータリークラブへ

社会奉仕事業の一環として退職者およびセミ退職者のために作ったクラブを私たちの仲間に



4 ローターリー財団活動への理解

ロータリアンは寄付によってロータリー財団を支援し、当財団を通じて人道的・教育的奉仕活動を実践している。



<目標>

年次基金寄付	<u>1人当たり 120USドル以上</u>
恒久基金寄付	<u>ベネファクター各クラブ1名以上</u> <u>(50名以上のクラブは2名以上)</u>
ポリオへの寄付	<u>1人当たり 50USドル以上</u>

「私たちは、自分のためだけに生きるべきではありません。誰かのために“よいこと”をする喜びのために生きるべきです」

(ロータリー財団創設者 アーチ・クランフ)

ポリオは撲滅できる。
みんなの協力があれば。



5 ロータリー米山記念奨学事業への理解

公益財団法人ロータリー米山記念奨学会は、日本で学ぶ外国人留学生に対しロータリアンからの寄付金を財源に奨学金を支給し支援する奨学事業を行っている。その使命は、将来日本と世界を結ぶ「懸け橋」となって国際社会で活躍し、ロータリーのよき理解者となる人材を育成すること。

年間の奨学生採用数は750人、事業費は12.6億円(2015-16年度)、国内では民間最大の国際奨学事業となっている。これまでに支援してきた奨学生数は、累計で19,197人(2016年6月)。その出身国は、世界124の国と地域に及んでいる。

<目標>

普通寄付	<u>1人当たり 5,000円以上</u>
特別寄付	<u>1人当たり 20,000円以上</u>
計	<u>1人当たり 25,000円以上</u>



6 ロータリーの未来を担う人材の育成



ロータリーの大きな役割は明日のリーダーを育てること。青少年奉仕のいろいろなプログラムを通じ、地域社会やロータリークラブの未来を担う才能豊かな人材を育てる。

- 1 全ての世代の人たちに、高い道徳的判断を奨励する。
- 2 若い人たちの適切な願望や関心を認識し、理解する。
- 3 地域でのプログラムを実施することで、若い人たちに機会を提供する。



その為に4つの常設プログラムが次のようにあります。



青少年奉仕プログラム

新世代のためのRI常設プログラムには、インターアクト、ローターアクト、ロータリー青少年指導者養成(RYLA)、ロータリー青少年交換がある。

4つのプログラム

- 1 インターアクト (Interact)
- 2 ローターアクト (Rotaract)
- 3 ロータリー青少年指導者養成
(Rotary Youth Leadership Awards)
- 4 ロータリー青少年交換
(Youth Exchange)



7 会長賞への挑戦

＜受賞資格＞

ロータリー戦略計画の3つの優先項目

- 1 クラブのサポートと強化
- 2 人道的奉仕の重点化と増加
- 3 ロータリーの公共イメージと認知度の向上

今年度の会長賞は、これらの優先項目にかかわる活動をしたクラブが対象です。

1 クラブのサポートと強化

次の4項目を達成すること

- 1 ロータリークラブ・セントラルで少なくとも10の目標を設定する。
- 2 クラブの戦略計画を更新または立案する。
- 3 会員数の純増: 会員数50名以下のクラブは少なくとも1名、会員数51名以上のクラブは少なくとも2名の会員純増を達成する。
- 4 女性会員の純増: 会員数50名以下のクラブは少なくとも1名、会員数51名以上のクラブは少なくとも2名の純増を達成する。
- 5 40歳未満の会員の純増: 会員数50名以下のクラブは少なくとも1名、会員数51名以上のクラブは少なくとも2名の純増を達成する。
- 6 例会以外の活動に会員が参加する。
- 7 新しいロータリークラブまたはロータリー地域社会共同隊(RCC)を提唱(または共同提唱)する。
- 8 インターアクトクラブまたはローターアクトクラブを提唱する。

2 人道的奉仕の重点化と増加

次の4項目を達成すること

- 1 ポリオ関連の募金活動または支援呼びかけイベントを開催する。
- 2 グローバル補助金または地区補助金を利用したプロジェクトを少なくとも1件提唱する。
- 3 環境に焦点を当てたプロジェクトを少なくとも1件実施する。
- 4 より大きな成果を出すために、地域内のロータリークラブと協力する。
- 5 持続可能なプロジェクトにロータリーファミリーに参加してもらう。
- 6 ロータリー財団へのクラブからの寄付を少なくとも10%増やす。
- 7 ロータリー財団のいずれかの基金に25ドル以上を寄付する会員の数を増やす。
- 8 年次基金への会員一人あたりの平均寄付額を100米ドルとする。
- 9 ロータリーの「アイデア応援サイト」を利用して、プロジェクトを支援する。

3 ロータリー公共イメージと 認知度の向上

次の4項目を達成すること

- 1 ロータリーのブランドリソースセンターを活用してイメージを高める。
- 2 クラブのホームページを定期的に更新して、ロータリーの活動成果を伝える。
- 3 ポリオデーを支援するためにイベントを開催し、その周知を図る。
- 4 市民団体、ロータリー学友等のための交流会を少なくとも1回開く。
- 5 企業または政府・地方自治体組織とプロジェクトで協力する。
- 6 地域で重要な問題を扱った地域フォーラムやセミナーを開催する。
- 7 クラブのプロジェクトやイベント、または募金活動を地元メディアに報道してもらう。
- 8 少なくとも1名のロータリー青少年交換学生を派遣または受け入れるか、少なくとも1名のRYLA参加者を支援する。

Rotary



ロータリー
変化をもたらす

2017-18年度ライズリーRI会長テーマ
「ロータリー：変化をもたらす」にそって、
私達のロータリーがより活性化され
発展することを願い、
皆様の力をお借りしながら
ともに語り合い頑張って参ります。
宜しくお願いいたします！

地区大会

RI会長代理

佐原元様(喜多方RC)

ともに語ろうロータリー

2017年11月10日～11日

場所: パシフィコ横浜会議センター

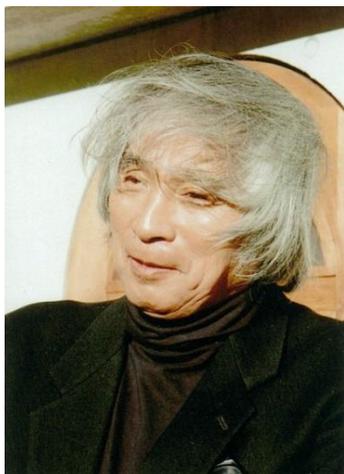


ロータリー
変化をもたらす

地区大会 ～ともに語ろうロータリー～

日時：2017年11月10日（金）～11日（土）

場所：パシフィコ横浜会議センター



【10日（金）】 16時20分～17時20分

会場：会議センター3階

講演 「無言館」のこと ―戦没画学生が伝えるもの―

講師 作家・無言館館主 窪島 誠一郎 氏



【11日（土）】 16時20分～17時20分

会場：会議センターメインホール

講演 「大切なのは今」

講師 虎屋17代当主 代表取締役社長 黒川 光博 氏



地区大会記念行事

END
POLIO
NOW

《ポリオ撲滅チャリティーディナーショー》

日時：2017年10月4日（水） 18:00 開宴 出演：ロータリー学友

場所：横浜ロイヤルパークホテル 宴会棟3F 鳳翔

参加費：15,000円



— ロータリー財団・米山学友演奏家たちの共演 —

《九州北部豪雨被災地支援チャリティーゴルフ大会》

日時：2017年10月16日（月）

場所：磯子カンツリークラブ

参加費：11,000円（チャリティー1000円含む）



Rotary



ロータリー
変化をもたらす

ご清聴ありがとうございました。



2017-18年度
ガバナー 湯川孝則